

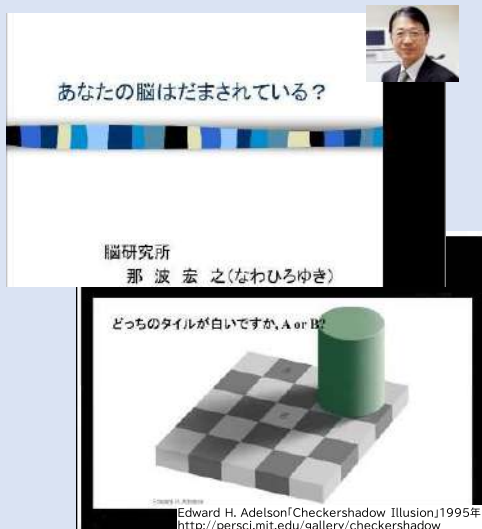
新潟ジュニアドクター育成塾

R2.10.18 No.4



体験学習（脳研究所）：見てみよう ヒトの脳と心

新潟大学 脳研究所：那波先生，笹岡先生より脳についての講義がありました。当日はマスタープログラム受講生37名が参加しました。

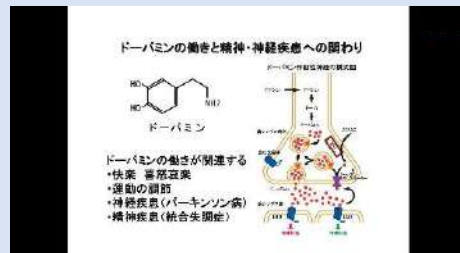


脳に入ってくる情報（画像や音など）は同じでも脳に映っているものは1人1人みんな違っている。脳は勝手に判断している。最初は「何のこと??」と思いました。でも、止まっているのに動いて見えたり，同じ色なのに違う色に見えたりする錯視（さくし）や，実際は途切れている音なのに連続した音として聴こえる錯聴（さくちょう）の例を実際に体験するうちに「なるほど!!」「まさにそうだ!」と納得しました。

「外からの情報は同じでも，脳の判断は同じ人でも年齢によって変わってくる。それは，その時までの経験や判断の積み重ねで判断するからだ。」という内容のお話が印象的でした。

脳内で分泌される「ドーパミン」という化学物質に焦点をあてたお話でした。脳にごほうびを与えるドーパミンはどんな時に脳内で多量に放出されるのかを，ハトやサル，マウスによる実験結果をもとにわかりやすく解説してもらいました。感情や行動に大きな影響をおよぼすドーパミン。動物は食べ物を得る「生理的報酬」のために行動しますが，ヒトは他の人からほめられたり良い評判を得たりする「社会的報酬」でもドーパミンが放出されるそうです。

「他の人の笑顔を見ると自分も幸せな気分になる。このように人との関係では社会的報酬が行動に大きな影響を与える。」というお話が印象的でした。



脳の研究では日本をリードしている新潟大学脳研究所の2名の教授から，脳の働きやしくみについて実例をあげてわかりやすく解説していただきました。受講生も興味津々の様子で，普段はあまり考えることがない自分の脳について思いを馳せる，とても貴重な時間となったようです。



※この取組は，国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）による「ジュニアドクター育成塾」事業（2019年度～2023年度）に採択されています。